

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **熊本県** (都道府県: **熊本県**)
 本事業の担当部局名 **健康福祉部子ども・障がい福祉局子ども未来課**

事業メニュー	結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	3.1.7 その他、各地域において結婚・妊娠・出産・子育てに温かい機運を醸成する取組		
個別事業名	「よかボス企業」普及促進事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~	令和7年3月31日	事業開始年度 令和 2 年度
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け (注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) <u>全事業共通</u> 熊本県においては、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策「子どもを安心して産み、育てられる環境整備」において、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援の充実を図る施策を行っている。 具体的には、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組む市町村を後押しするため、県単独の交付金事業を実施するとともに、県においては、平成29年(2017年)8月、知事が先頭に立って、職員や社員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やして、結婚や子育てがしやすい熊本県を目指すため、様々な機会を捉えて多くの企業等に働きかけを行い、「よかボス」の企業・団体の数は1,030社(R5.12月時点)、「よかボス企業」のある市町村数は42市町村/45市町村にまで広がりを見せている状況。 しかし、令和4年の県内婚姻数は6,349件、出生数は11,875人と、経年的に低下傾向にある。同傾向については、若い世代が結婚に対する経済的不安を抱えていること、理想的な結婚相手との出会いの場が少ないこと、将来のライフプラン等について考える情報が不足していること、子育てに対する負担感などが主な原因であると分析している。		
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) < 当年度の少子化対策の全体像 > <u>全事業共通</u> 過年度に引き続き、行政・企業等の連携した取組みによって、若い世代が結婚・子育てをしながら安心して仕事を続けられるくまもとのすがたを「くまもとスタイル」と称し、「よかボス」の取組みを軸として、結婚や子育てを社会全体で応援するくまもとを目指す。		
	< 本個別事業の位置付け > 若い世代の結婚に対する経済的不安、理想的な結婚相手との出会いの場の創設及び子育てに対する負担感などを軽減するために、こどもまんなか月間(5月・11月)と連携し「よかボス」企業を中心とした社会全体で結婚・子育てを応援する機運醸成を図る取組みとして実施するもの。		
	(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 「よかボス企業」は制度開始から6年がたち、登録数は1,000社を超え、各種広報周知を行っており企業間での認知度は高まっているが、県民の認知度はそれほど高くはない状況。また、制度開始の6年前と比べて社会の結婚観の変容が進んだこと(結婚は個人の自由である)により「結婚支援」を行うことにためらいを感じる企業が増え、登録辞退や新規登録数の伸び悩みが生じている。また、「よかボス企業」を対象としたセミナーのうち、結婚支援を目的とした出会い創設関連のものについての参加率が低下している状況。 そのため、「よかボス企業」を①主に結婚支援を行う企業、②主に子育て支援を行う企業、結婚支援・子育て支援双方を行う企業、に3分類化し、それぞれにおいて企業間の連携を図り、特に②及び については「こどもまんなか熊本」の取組みと併せて県全体に広げていく。また、セミナーについては、「結婚支援」を全面に出さずに独身者が参加しやすいテーマでの異業種交流会として実施する。		

番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定	
個別事業の内容 (注)3	1	「よかボス企業」普及促進事業 ・よかボス企業の登録申請書に、よかボス企業登録後の活動欄(①主に結婚支援を行う、②主に子育て支援を行う、結婚支援・子育て支援双方を行うの3分類)を設け、結婚支援をネットワークとする企業に対して登録促進を図る。 ・令和5年度から開始した「よかボス新聞」を継続発行し、よかボス企業の優れた取組みを広く紹介する。 ・「こどもまんなか熊本」及びよかボスの取組の情報発信として、よかボス企業の子育て支援の取組みを紹介する動画やSNS等を活用し、広報を行う。			
	2	「くまもとスタイル」推進セミナー ・「よかボス企業」の社員を対象とした「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」、「こどもまんなか熊本」の4つのテーマでセミナーを実施し(1回当たり35人程度を想定、合計6回開催)、よかボス企業の中において「こどもまんなか熊本」の取組みを加速させる。 ・「結婚」をテーマにしたセミナーについては、異業種交流会の側面を強調したものを実施し、自然な出会いを創出する。			
	3	事業説明会及び企業訪問による広報周知事業 「よかボス企業」の普及促進のため、事業説明会(1回、50人程度)を開催するとともに、企業や団体を訪問して広報周知を図る。			
<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】 「こどもまんなか熊本」の実現に向けて、「まちのよかボス」が地域に広がり、地域で「よかボス企業」との連携を強化し、結婚・子育て支援の機運の醸成を図る。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 特になし</p>					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)4 全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	結婚支援に取り組む市町村数		市町村	45(令和6年度)	35(令和5年度)
	「よかボス企業」登録数		団体	1080(令和6年度)	1030(R6.1.1時点)
	市町村長の「よかボス宣言」者数		人	34(令和6年度)	22(R6.1.1時点)
	「聞きなっせAIくまもと」友達登録者数		人	16000(令和6年度)	13794(R6.1.1時点)
	「結婚応援の店」登録数		店舗	400(令和6年度)	312(R6.1.1時点)
	「子育て応援の店」登録数		店舗	2700(令和6年度)	2648(R6.1.1時点)
参考指標 (注)5 全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.52(令和4年)	
	婚姻件数		件	6349(令和4年)	
	婚姻率			3.7(令和4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
	(アウトプット)				
	1	「よかボス企業」登録企業・団体数	社	1110	1042(R6.3時点)
	2	「くまもとスタイル」推進セミナー参加者数	人	220	178(R5)
	3				
	(アウトカム)				
	1	「よかボス宣言」をしてから会社が良くなったと思うボスの割合	%	75	60
	2	「よかボス宣言」をしてから会社が良くなったと思う社員の割合	%	75	62
3					
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)7	市町村長のよかボス宣言を働きかけるとともに、既によかボス宣言を行っている市町村については、管内企業・団体に対して、登録を呼びかけてもらうよう働きかける。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)8	民間企業と連携し、企業が主となって従業員の結婚・子育てを応援する事業であるため、「よかボス企業」自身がHPやSNS等で情報を発信してもらうよう働きかける。 また、企業のみならず、「まちのよかボス」へも同様に情報発信を連携して行う。				